

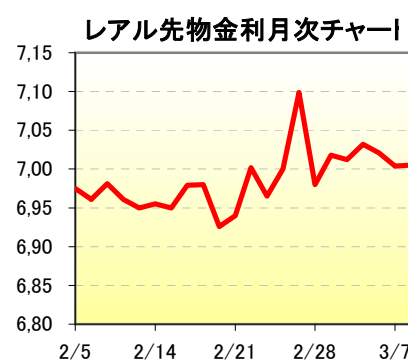
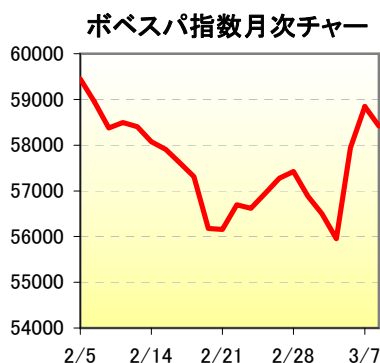
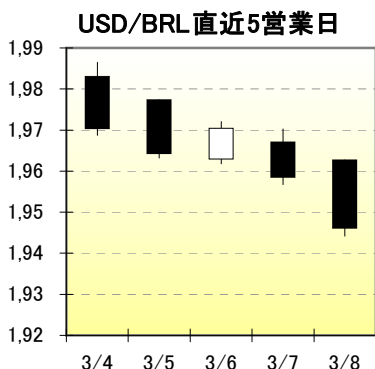
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	1,9750	1,9670	1,9660	1,9610	1,9490	-0,0120
	USD/YEN	Spot	93,46	93,34	94,11	94,88	96,00	+1,1200
	EUR/USD	Spot	1,3026	1,3053	1,2976	1,3106	1,3005	-0,0101
	BRL/YEN	Spot	47,44	47,53	47,77	48,48	49,38	+0,9000
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,45	1,44	1,47	1,31	1,34	+0,0309
		1Year(p.a.)	1,62	1,59	1,57	1,50	1,50	-0,0061
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,42	7,44	7,43	7,51	7,63	+0,1169
		1Year(p.a.)	7,73	7,75	7,75	7,89	8,03	+0,1389
Stock	Bovespa		56.499	55.951	57.940	58.847	58.433	-414,06
Bond	CDS Brazil 5y		133,79	129,34	129,34	125,38	124,65	-0,7250
	Global 40		124,000	124,000	124,000	124,000	123,650	-0,3500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FGVインフレ率-IGP-M(7レビュー、2月28日)	0.33%	0.15%	0.34%	
FGV CPI IPC-S (3月7日)	0.38%	0.52%	0.33%	
IBGEインフレ率-IPCA(前月比、2月)	0.49%	0.6%	0.86%	
インフレ率(IPCA)-IBGE(前年比、2月)	6.2%	6.31%	6.15%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$1.9830で寄り付いた。
- 週初は中国の非製造業活動が2月に鈍化したことや、イタリアで再選挙の可能性が高まっていることが嫌気され、リスク資産の売りが見られると、レアルも寄り付き直後に週間安値となるUS\$1=R\$1.9870を付けた。
- 翌5日は大口の資金流入の噂からレアルはじりじりと買い進まれたが、材料に乏しい展開の中レアルの値動きは限定的となった。
- 週央にかけてはユーロ圏の輸出が昨年10-12月期に減少したことが嫌気され、ユーロが下落すると、レアルもつられて1.96台後半まで反落した。
- 翌7日にはECB政策委員会で金利据え置きが決定された他、スペインの国債入札で落札利回りが低下したことが好感され、リスク資産に買いが入ると、レアルも1.9600を上抜け反発した。
- 週末にかけては2月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が予想を上回る伸びとなった他、米失業率が2008年以来の水準まで低下したことが好感されリスク資産全般に買いが入ると、レアルもつられて週間高値となるUS\$1=R\$1.9460まで続伸した。伯中銀によるドル買い介入警戒感からレアルは一時的にやや反落したが、レアル買い圧力は引き続き強く結局US\$1=R\$1.9490で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5. 来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
3/11	FIPE消費者物価指数(週次)	mar/07	0.06%	0.52%
3/11	貿易収支(FOB)-週次	mar/10	--	--
3/12	CNI生産設備稼働率	Jan	0,81	80.9%
3/14	COPOM Monetary Policy Meeting Minutes			
3/14	広義小売売上高(前年比)	Jan	8,00%	0,05
3/14	小売売上高指数(前年比)	Jan	5.4%	0,05
3/14	小売売上高指数(前月比)	Jan	0.3%	-0.5%
3/15	FGVインフレ率-IGP-10(前月比)	Mar	0.31%	0.29%

6. 来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：1.93－2.00

今週は国内外で多くのイベントや経済指標が発表され、ECB が金利を据え置いたことや米雇用統計が予想比良好な結果となったことから世界的にリスク資産の買いが見られた。また、伯金融政策委員会（COPOM）が開催され政策金利は 7.25% に据え置かれ、金融政策委の声明では、昨年 10 月から盛り込まれていた金融政策を「十分に長期間」維持するとの文言が削除された一方で、「次回会合までマクロ経済シナリオ」の評価を行った上で「金融政策戦略に関する次のステップを判断する」としたことから市場では年内に利上げの余地があるとの思惑が広まった。これらの要因を受けてレアル買い傾向が強まり、レアルは 10 ヶ月振りの水準となる 1.94 台まで上昇した。しかし、過去 2 回に亘って中銀は 1.95 台でドル買い介入を行っていることから、来週はリスク資産選好の動きが継続し、さらなるレアル高が進んだ場合の伯中銀の対応姿勢が注目される。